



2021年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年9月14日

上場会社名 株式会社 山王 上場取引所 東
 コード番号 3441 URL <http://www.sanno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 尚
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 浜口 和雄 TEL 045-542-8241
 定時株主総会開催予定日 2021年10月27日 配当支払開始予定日 2021年10月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年10月28日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年7月期の連結業績（2020年8月1日～2021年7月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期	8,051	1.3	262	46.7	243	181.7	966	463.5
2020年7月期	7,947	11.9	179	—	86	—	171	—

(注) 包括利益 2021年7月期 725百万円 (1487.7%) 2020年7月期 45百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年7月期	209.31	—	20.7	2.3	3.3
2020年7月期	37.14	—	4.0	0.9	2.3

(参考) 持分法投資損益 2021年7月期 -百万円 2020年7月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期	10,710	5,027	46.9	1,089.14
2020年7月期	10,400	4,324	41.6	936.96

(参考) 自己資本 2021年7月期 5,027百万円 2020年7月期 4,324百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年7月期	573	144	△262	2,971
2020年7月期	△339	△682	910	2,480

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年7月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00	百万円 23	% 13.5	% 0.5
2021年7月期	—	0.00	—	8.00	8.00	36	3.8	0.7
2022年7月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		17.1	

3. 2022年7月期の連結業績予想（2021年8月1日～2022年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,080	7.5	160	249.4	150	—	170	△76.6	36.82
通期	8,380	4.1	300	14.1	260	6.6	270	△72.1	58.49

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）山王電子（無錫）有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年7月期	5,000,000株	2020年7月期	5,000,000株
2021年7月期	384,179株	2020年7月期	384,074株
2021年7月期	4,615,859株	2020年7月期	4,615,946株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1. 経営成績等の概況（1）経営成績に関する分析 2. 次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(企業結合等関係)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
(追加情報)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

1. 当期の営業成績

当連結累計期間における世界経済におきましては、米国では新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種に加え大規模経済対策の効果も相まって回復を見せており、中国においても経済回復が見られました。一方で新興国ではワクチン接種の遅れもあり景気の回復に時間を要するなど、二極化の様相を呈する状況となりました。

わが国経済におきましても、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で度重なる緊急事態宣言により経済活動は制限されるなど厳しい状況が続く一方で、中国など経済回復が見られる地域向けの輸出拡大などに伴って一部業種では回復がみられたものの、経済活動全般の持ち直しには更に時間を要するものと見込まれます。

当社グループが属する電子工業界では、5G向けを中心に通信分野での部品需要は増加基調で、産業機器向け分野の好調持続や自動車向け分野についても復調が見られるなど、当連結累計期間においては総じて好調な市場環境にありました。

このような状況のもと当社グループは、旺盛な部品需要に対応すべく積極的に新製品の受注・売上の拡大を図るとともに、東北事業部での生産ライン増強を進めるなどの施策に取り組んでまいりました。

また、山王電子（無錫）有限公司の持分を全部譲渡し当第2四半期より連結の範囲から除外したことにより、山王電子（無錫）有限公司の売上高・各段階利益は、第1四半期連結累計期間のみの計上になります。

この結果、当連結累計期間の売上高は8,051百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は262百万円（前年同期比46.7%増）、経常利益は243百万円（前年同期比181.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、当第2四半期において関係会社出資金売却益753百万円を計上したことなどにより966百万円（前年同期比463.5%増）となりました。

なお、セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

当連結累計期間は、5G向けを中心とした通信分野や産業機器分野、自動車向け分野での部品需要に対応すべく積極的な受注活動、生産体制の拡充に努めてまいりました。

この結果、売上高は6,334百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は148百万円（前年同期比139.1%増）となりました。

② 中国

山王電子（無錫）有限公司については、当第2四半期期首より連結の範囲から除外しており、第1四半期連結累計期間分のみの計上となり、計上される売上高は345百万円、営業利益は11百万円となっております。

③ フィリピン

当連結累計期間は、回復基調の車載関連を中心とした受注活動の充実に努めるとともに、収益改善活動に努めてまいりました。

この結果、売上高は1,420百万円（前年同期比30.7%増）、営業利益は31百万円（前年同期比257.6%増）となりました。

2. 次期の見通し

当社グループを取り巻く経済環境は、米国や中国などは新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種に加え経済対策の効果などにより経済回復が見られますが、一方でワクチン接種の遅れから東南アジアなどは新たなサプライチェーンのリスクとなり部品調達難や一部生産調整がみられるなど、引き続き企業活動への制限を余儀なくされるような状況が継続し、厳しい経済環境が続くことが想定されます。

当社グループが属する電子工業界におきましては、5G向けを中心に通信分野での部品需要は旺盛であるものの、足元では新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界経済悪化の影響が懸念されます。

このような状況のもと、当社グループは、需要が拡大している5G向け製品や産業機器、自動車部品の受注拡大に向け東北事業部での新ライン増強を進めるなど積極的な設備投資を実施し一層の受注拡大に努めてまいります。

こうした状況から、当社グループの次期業績予想につきましては、売上高8,380百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益300百万円（前年同期比14.1%増）、経常利益260百万円（前年同期比6.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、63期第2四半期において関係会社出資金売却益753百万円を計上したことなどにより対前期比では減少の270百万円（前年同期比72.1%減）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

1. 当連結会計年度の資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、山王電子（無錫）有限公司持分譲渡により、当第2四半期期首より連結の範囲から除外しており、原材料及び貯蔵品が266百万円減少したものの、現金及び預金が367百万円、建設仮勘定が298百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ309百万円増加し、10,710百万円となりました（前連結会計年度末は10,400百万円）。

負債は、借入形態の変更により、短期借入金が1,093百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が689百万円、長期借入金が778百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比べ392百万円減少し、5,683百万円となりました（前連結会計年度末は6,075百万円）。

また純資産は、為替換算調整勘定が315百万円減少したものの、利益剰余金が943百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ702百万円増加し、5,027百万円となりました（前連結会計年度末は4,324百万円）。

2. 当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末と比較して491百万円増加し、2,971百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、573百万円増加（前年同期は339百万円の減少）となりました。これは主に関係会社出資金売却益が753百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が991百万円、減価償却費が490百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、144百万円の増加（前年同期は682百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が548百万円あったものの、連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入が689百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、262百万円の減少（前年同期は910百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の純増額が1,325百万円、長期借入による収入が1,819百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が3,287百万円あったことなどによるものであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当連結会計年度 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,684,295	3,051,374
受取手形及び売掛金	2,377,380	2,445,169
製品	144,781	88,689
原材料及び貯蔵品	1,673,321	1,406,888
その他	208,746	254,445
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	7,088,276	7,246,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	156,963	162,949
機械装置及び運搬具(純額)	1,033,007	859,525
土地	1,226,410	1,226,410
リース資産(純額)	114,133	83,340
建設仮勘定	51,433	349,574
その他(純額)	211,411	149,504
有形固定資産合計	2,793,359	2,831,305
無形固定資産	95,170	112,192
投資その他の資産		
投資有価証券	317,367	424,912
その他	106,434	95,805
投資その他の資産合計	423,802	520,717
固定資産合計	3,312,331	3,464,215
資産合計	10,400,608	10,710,532

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当連結会計年度 (2021年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	335,728	331,270
短期借入金	1,426,150	2,520,000
1年内返済予定の長期借入金	938,842	249,069
リース債務	47,056	48,384
未払法人税等	50,549	9,119
その他	543,023	592,332
流動負債合計	3,341,349	3,750,175
固定負債		
長期借入金	2,267,504	1,488,680
リース債務	112,200	69,331
退職給付に係る負債	205,087	199,281
繰延税金負債	28,042	56,008
その他	121,476	119,781
固定負債合計	2,734,311	1,933,084
負債合計	6,075,661	5,683,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	2,124,539	3,067,859
自己株式	△125,125	△125,383
株主資本合計	3,832,233	4,775,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,566	110,304
為替換算調整勘定	458,023	142,050
退職給付に係る調整累計額	△7,875	△377
その他の包括利益累計額合計	492,714	251,976
純資産合計	4,324,947	5,027,272
負債純資産合計	10,400,608	10,710,532

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
売上高	7,947,099	8,051,626
売上原価	6,409,814	6,481,889
売上総利益	1,537,285	1,569,736
販売費及び一般管理費	1,358,140	1,306,882
営業利益	179,144	262,854
営業外収益		
受取利息	17,194	7,166
受取配当金	5,941	5,622
受取賃貸料	5,089	6,614
為替差益	-	20,007
補助金収入	-	47,499
その他	16,166	18,142
営業外収益合計	44,391	105,053
営業外費用		
支払利息	51,274	41,541
為替差損	24,463	-
支払手数料	15,048	54,773
その他	46,216	27,788
営業外費用合計	137,003	124,103
経常利益	86,532	243,804
特別利益		
投資有価証券売却益	147,494	-
関係会社出資金売却益	-	753,993
特別利益合計	147,494	753,993
特別損失		
固定資産除却損	1,512	0
減損損失	15,542	-
地震補修費用	-	5,896
特別損失合計	17,054	5,896
税金等調整前当期純利益	216,971	991,901
法人税、住民税及び事業税	43,366	26,875
法人税等調整額	2,164	△1,107
法人税等合計	45,530	25,767
当期純利益	171,441	966,134
親会社株主に帰属する当期純利益	171,441	966,134

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
当期純利益	171,441	966,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74,416	67,738
為替換算調整勘定	△45,162	△315,973
退職給付に係る調整額	△6,173	7,497
その他の包括利益合計	△125,751	△240,737
包括利益	45,689	725,397
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	45,689	725,397

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	962,200	870,620	1,953,097	△125,103	3,660,814
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	171,441	-	171,441
自己株式の取得	-	-	-	△22	△22
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	171,441	△22	171,419
当期末残高	962,200	870,620	2,124,539	△125,125	3,832,233

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	116,982	503,185	△1,702	618,465	4,279,279
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	171,441
自己株式の取得	-	-	-	-	△22
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△74,416	△45,162	△6,173	△125,751	△125,751
当期変動額合計	△74,416	△45,162	△6,173	△125,751	45,667
当期末残高	42,566	458,023	△7,875	492,714	4,324,947

当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	962,200	870,620	2,124,539	△125,125	3,832,233
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	△22,814	-	△22,814
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	966,134	-	966,134
自己株式の取得	-	-	-	△257	△257
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	943,320	△257	943,062
当期末残高	962,200	870,620	3,067,859	△125,383	4,775,295

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	42,566	458,023	△7,875	492,714	4,324,947
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	△22,814
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	966,134
自己株式の取得	-	-	-	-	△257
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	67,738	△315,973	7,497	△240,737	△240,737
当期変動額合計	67,738	△315,973	7,497	△240,737	702,325
当期末残高	110,304	142,050	△377	251,976	5,027,272

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	216,971	991,901
減価償却費	355,997	490,969
減損損失	15,542	-
固定資産除却損	1,512	0
支払手数料	-	54,773
関係会社出資金売却益	-	△753,993
投資有価証券売却損益 (△は益)	△147,494	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18,396	1,580
受取利息及び受取配当金	△23,135	△12,789
支払利息	51,274	41,541
為替差損益 (△は益)	21,621	△11,881
売上債権の増減額 (△は増加)	△717,531	△442,065
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△364,481	35,266
仕入債務の増減額 (△は減少)	124,071	118,896
未払又は未収消費税等の増減額	109,809	13,128
未払費用の増減額 (△は減少)	78,854	23,475
その他	2,731	114,758
小計	△292,650	665,561
利息及び配当金の受取額	23,466	12,534
利息の支払額	△51,274	△41,471
法人税等の支払額	△18,687	△63,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	△339,145	573,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	246,511	61,400
定期預金の預入による支出	△184,951	△15,415
有形固定資産の取得による支出	△844,780	△548,460
無形固定資産の取得による支出	△77,294	△30,724
投資有価証券の取得による支出	△11,668	△11,063
投資有価証券の売却による収入	190,165	-
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	-	689,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△682,018	144,823
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	294,480	1,325,400
長期借入れによる収入	1,271,000	1,819,000
長期借入金の返済による支出	△607,144	△3,287,596
リース債務の返済による支出	△45,518	△41,540
配当金の支払額	-	△22,903
その他	△2,585	△54,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	910,232	△262,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37,099	35,401
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△148,031	491,073
現金及び現金同等物の期首残高	2,628,319	2,480,288
現金及び現金同等物の期末残高	2,480,288	2,971,362

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（企業結合等関係）

（事業分離）

1 事業分離の概要

（1）分離先企業の名称

無錫特恒科技有限公司

（2）分離した子会社の名称及び事業の内容

子会社の名称：山王電子（無錫）有限公司

事業の内容：貴金属表面処理加工業、精密プレス加工業

（3）事業分離を行った理由

当社は目まぐるしく変化を続ける事業環境に適応すべく、当該子会社の全持分を譲渡することが、経営資源の選択と集中につながり、経営の効率を高めることでグループの総合的な企業価値向上に資すると判断し、譲渡を決議いたしました。

（4）事業分離日

2020年12月28日

（5）法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金のみとする事業分離

2 実施した会計処理の概要

（1）移転損益の金額

753,993円

（2）移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	868,640千円
固定資産	<u>60,360千円</u>
資産合計	<u>929,000千円</u>
流動負債	536,872千円
固定負債	<u>1,084千円</u>
負債合計	<u>537,956千円</u>

（3）会計処理

山王電子（無錫）有限公司の連結上の帳簿価額と譲渡価額の差額を「関係会社出資金売却益」として特別利益に計上しております。

3 分離した事業が含まれている報告セグメント

中国セグメント

4 当連結会計年度にかかる連結損益計算書に計上されている分離した事業の損益の概算額

売上高	345,998千円
営業利益	11,117千円

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、貴金属表面処理事業の単一事業であり、国内においては当社が、海外においては中国等を山王電子（無錫）有限公司、東南アジアの各地域をS P M C（Sanno Philippines Manufacturing Corporation）がそれぞれ担当しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」及び「フィリピン」の3つを報告セグメントとしております。

なお、「中国」の報告セグメントを担っていた山王電子（無錫）有限公司の持分を全部譲渡し当第2四半期より連結の範囲から除外しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの金額であります。セグメント間の内部利益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,472,572	1,387,712	1,086,814	7,947,099	—	7,947,099
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,939	—	—	3,939	△3,939	—
計	5,476,512	1,387,712	1,086,814	7,951,039	△3,939	7,947,099
セグメント利益	62,125	13,167	8,679	83,972	95,172	179,144
セグメント資産	9,963,376	1,046,237	2,063,551	13,073,165	△2,672,557	10,400,608
その他の項目						
減価償却費	265,168	21,033	69,795	355,997	—	355,997
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	703,223	39,895	47,223	790,342	—	790,342

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額は、セグメント間の相殺消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,284,855	345,998	1,420,771	8,051,626	—	8,051,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	49,317	—	—	49,317	△49,317	—
計	6,334,173	345,998	1,420,771	8,100,944	△49,317	8,051,626
セグメント利益	148,534	11,117	31,039	190,691	72,163	262,854
セグメント資産	10,435,264	—	2,144,618	12,579,882	△1,869,350	10,710,532
その他の項目						
減価償却費	419,525	4,632	66,810	490,969	—	490,969
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	581,284	3,355	11,920	596,560	—	596,560

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額は、セグメント間の相殺消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年8月1日 至 2020年7月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、貴金属表面処理事業の単一事業であり、製品及びサービスの区分がないため、該当事項はありません。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	フィリピン	計	調整	合計
2,439,385	53,957	300,016	2,793,359	—	2,793,359

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年8月1日 至 2021年7月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、貴金属表面処理事業の単一事業であり、製品及びサービスの区分がないため、該当事項はありません。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	フィリピン	計	調整	合計
2,581,453	—	249,851	2,831,305	—	2,831,305

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年8月1日 至 2020年7月31日）

(単位：千円)

日本	中国	フィリピン	計	調整	合計
15,542	—	—	15,542	—	15,542

当連結会計年度（自 2020年8月1日 至 2021年7月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)		当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)	
1株当たり純資産額	936.96円	1株当たり純資産額	1,089.14円
1株当たり当期純利益	37.14円	1株当たり当期純利益	209.31円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	171,441	966,134
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	171,441	966,134
普通株式の期中平均株式数 (千株)	4,615	4,615

(重要な後発事象)

該当事項はありません

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症（以下、本感染症）の影響に関して、現時点では当社の国内各事業拠点においては、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しており、平常時と同水準の稼働率を維持しております。

しかしながら、本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから当社及び連結子会社は外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2022年7月期以降の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、固定資産の評価（減損）について会計上の見積りを行っております。